

2017年(平成29年)7月21日(金曜日)

震災学ぶ展示の招致を

名古屋市議会で三輪議員



三輪議員

三輪芳裕議員は、東日本大震災の発生から6年が経過し、マスコミ報道が減少傾向にある中、震災の教訓を風化させず、今後、発生が予想される南海トラフ巨大地震の備えに生かす取り組みの必要性を強調した。三輪議員は、名古屋市が

復興支援を継続している宮城県気仙沼市には全国で唯一、同大震災の被災物を収蔵し常設展示を行っている「リアス・アーク美術館」があることに言及。同美術館が東京で巡回展を行った際に、多くの観覧者が訪れ、防災意識の啓発につながったことを紹介し、名古屋市内にも同美術館の巡回展を招致するよう求めた。

河村たかし市長は前向きに検討する意向を示した。